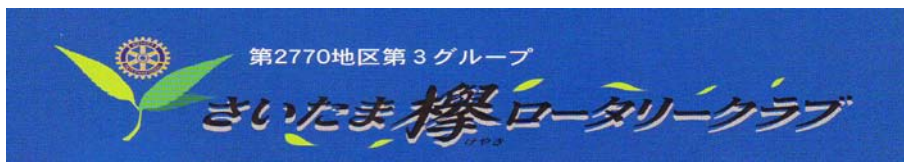




RIテーマ

平成23年11月1日 第349回例会 NO. 265発行



会長/寺沢 良治 幹事/井上 博明 週報委員長/秋本 昌治

今週の例会

2011年11月8日(火)第350回  
 ■点 鐘 12時30分  
 ■例会場 ラフレさいたま  
 ■ソング 「奉仕の理想」「四つのテスト」  
 ■プログラム主題 外部卓話  
 地区管理運営部門委員長 篠原 唯史様

次週の例会

2011年11月12・13日(土・日)  
 第351回  
 11/12 浦和パインズホテル  
 11/13 春日部市民文化会館  
 ■ソング  
 ■プログラム主題 地区大会

■例会日 毎週火曜日  
 ■例会場 ラフレさいたま 5階  
 ■点 鐘 12:30 (第1・2・3)  
 18:30 (第4・5)  
 ■事務局 さいたま市中央区下落合  
 4-14-14-2F

クラブテーマ 「絆を深めよう」



### 会長挨拶

皆さん こんにちは。

本日は11月の最初の例会です。先々週の公式訪問例会も会員皆様のご協力により滞りなく終わることができました。ありがとうございました。

本日の例会には、お客様として川口ロータリークラブ 谷内宏文様をお迎えしております。この後卓話をいただくことになっております。谷内様、よろしくお願いいたします。

また、今月の12日(土)浦和パインズホテル、13日(日)春日部市民文化会館で開催される、三年度のイベントである地区大会は全会員登録で申し込み済みですので、ぜひ出席をお願いします。

さて、秋といえば食欲の秋・スポーツの秋・芸術の秋など盛りだくさんであります。実は私、秋になると「いけ花」という芸術を毎年鑑賞しています。私のワイフは長く「いけ花」の稽古をしております。この流派の花展が上野の百貨店で開催されるのです。初めての花展を見るまでは、「いけ花」とは床の間や玄関先に飾られている花程度の認識でした。しかし実際の作品は私のイメージとは程遠く、まさに芸術そのものでした。異種素材との組み合わせや、あるものは彫刻のように、あるものは絵画のように、また、あるものはオブジェのように、驚きと同時に大変感動したことを覚えております。

出品者の9割以上が女性ということで、女性特有

の感性の豊かさ、エネルギーで力強い表現方法なども感心させられました。今や家庭、職場、スポーツの世界等、あらゆるところで女性は実にイキイキと輝いています。当クラブにおいても、もっと沢山の素晴らしい女性たちに入会していただけるよう、魅力あるクラブにしていかなければならないと思います。

では、本日もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

### ゲスト紹介

《本日の卓話者》

谷内 宏文様  
(川口 RC)



青少年交換留学生 アスタさん

### 幹事報告

- 第5回役員・理事会を開催いたしました。
- 地区より
  - ①11/3(祝)インターアクトあしなが募金活動を実施します。会員の皆様のご協力をお願いいたします。
  - ②台風12号災害義援金へご協力ありがとうございました。1,110,000円を送金いたしました。
- さいたま市より「さいたま市防犯・暴力排除・交通安全市民大会」開催のご案内  
日時 平成23年11月18日(金)13:30~  
場所 埼玉会館 大ホール
- 会報誌「腎・アイバンクさいたま」を配布いたします。  
\*青少年交換留学生 アスタさんにお小遣いを渡します。

## 「米山梅吉をとりまく群像」

米山梅吉は慶應4年(9月に改元し明治元年)に生まれ、先の敗戦の翌年の昭和21年に死去という、劇的生涯を終えた典型的明治人である。そして、その生涯の中で多くの人と出会い、影響と助けを借りて、あのような事績を残した。

まず、生い立ちにおいて結果として最も大きな影響を与えたのは、実父の和田竹造である。この父は高取藩の家臣で、米山が5歳のときに死去したことにより、米山遺児となり、母の故郷三島で育ち米山家の養子と期待されて「沼津中学校」に通い、そこで洋学に目覚めたことが、渡米という青雲の志を抱かせた。

この沼津中学は、静岡徳川藩の幕府時代の洋学者達によって創られた「沼津兵学校」の後身で、そこで教えた学科は、現在とほぼ変わらない進歩的なものであった。

16歳で養家に無断で上京した米山は、青山学院の前身の「東京英和学校」で英語を学び、20歳で渡米し28歳まで働きながら苦学を続けた。主にオハイオ州のウェスレアン大学で学んだが、これはメリマン・ハリスと本多庸一の後に青山学院の建学者と言われるようになる二人の推薦によるものであった。

明治28年に帰国して30年に三井銀行に腰を落着けることになるが、これは井上馨の女婿の藤田四郎という学友の斡旋による。また採用した中上川彦次郎(福沢諭吉の甥)は、当時三井銀行近代化改革に尽力中で、慶應義塾の俊英達(藤山雷太・小林一三・武藤山治・和田豊治・藤原銀次郎・鈴木梅四郎・池田成彬)を採用していて、米山はこれ等の人と競いながら、結局池田と共に三井銀行に残りその経営を担うこととなった。

そして大正6年の「政府特派財政経済委員会」に目賀田種太郎(勝海舟の女婿)に誘われて参加することにより、以後三井銀行の一経営者の域を超えて日本を代表する財政金融家の道を歩むことになる。またこのとき、ダラスのRCにゲスト出席したことが、後日日本にRCを創る契機となった。

このように、米山の生涯の中での多くの出会いを話したのは、私が次のように考えるからである。

維新で没落した武士の身寄りの少なかった遺児が、あのような事績を残し得たのは、本人の能力は勿論だが、多くの人々の助けを得たことにもよる。そしてそのことに米山は深く感謝の念を持っていたが、一方では、藩閥・門閥・閥閥・さらには親分子分という不合理な力に頼らざるを得ない当時の状況に抵抗を感じていた。そのことが、より合理的なRCに目を向けさせて、その導入を果たさせた。

また、もう一つの事績である「信託行の創業」も「各人の職業を通じて社会に奉仕する」というRCの信条と同じ米山イズムからもたらされたものであると思う。

さらに大正3年47歳で世に問うた「功なり名遂げた者には、なおまだ社会に恩を返す責務が残されている」とした『新隠居論』も米山イズムを語ったものとして注目しなければならない。

- ◆寺沢 良治会員  
本日のお客様、川口RCの谷内様ようこそ。卓話よろしく申し上げます。
- ◇井上 博明会員  
本日もよろしく申し上げます。谷内様ようこそ。
- ◆井上 久雄会員  
川口RC 谷内宏文様、本日はお忙しい中、卓話の為ご来会下さいまして、誠にありがとうございます。「米山梅吉翁の足跡」の卓話楽しみにしておりました。しばらく雲隠れしておりましたが、無事復帰できました。本日もよろしくお願いいたします。
- ◇片山 金次郎会員  
川口RCの谷内様、本日は卓話ありがとうございます。米山のお話は久しぶりですので勉強させていただきます。本多さん、先日はおめでとうございました。お父さんはじめ楽しい家族の方々に温かさを感じました。
- ◆住吉 望会員  
本多家ご子息様、華燭のご盛典を祝し心からお慶び申し上げます。本多さんがおじいちゃんになるのをとても楽しみにしております。またお祝いさせて下さい。本日の卓話、学びの場をありがとうございます。
- ◇陳 麗瓊会員  
先日は皆様ありがとうございました。本多様のご子息様、ご結婚おめでとうございます。
- ◆内藤 憲会員  
本日もよろしくお願いいたします。
- ◇中村 芳彦会員  
本多さん、御長男様の結婚、おめでとうございます。シャンパンを飲みすぎて少々頭が痛かったです。本日もよろしくお願いいたします。
- ◆野原 哲夫会員  
本多さん、ご子息様の結婚、おめでとうございます。青少年交換の来日学生アスタも3ヶ月経過し、日本語も上手になりました。ホストファミリーも変更になりましたが、1月から3月まで会員の方をお願いします。
- ◇東野 良彦会員  
谷内様、ようこそお越しいただきました。まだ勉強中の身ですので、米山翁の話、静聴させていただきます。
- ◆本多 正和会員  
先日の私どもの披露宴には、皆様に大変お世話になりました。本日は谷内様、米山の卓話、よろしくお願いいたします。
- ◇三上 等会員  
本多さん、ご子息様の結婚式、おめでとうございます。ゴルフがなかなかうまくならないので、レッスンに行きたいと思います。その時はよろしくお願いいたします。川口RCの谷内様、卓話よろしくお願いいたします。

11/1 24,000円 累計 315,000円

## 出席報告

月日	会員総数	出席	欠席	出席率
11/1	22	15	7	68.18%